



## Q 学校給食について



小川 茂 議員

## A 安全な学校給食を提供していく

**問** 学校給食の教育的位置付けは、健康の保持増進のほか、望ましい食習慣と食に関する実践力を身につけさせることができる。また、伝統的な行事食や地場産野菜の提供により、地域の文化や伝統に対する理解と関心を深めるなどの教育効果も期待できる。

**答** 鶴ヶ島市学校給食食物アレルギー対応マニュアルを基に対応している。命に関わるため、家庭、学校、学校給食センターの三者で情報の共有と連携を図っている。

**問** 食材等の放射性物質の測定は、平成24年4月から測定しているが、基準値を超えた食品は出ていない。今後も測定結果や他市町村の状況などを参考に進めていく。

**問** 維持管理業務及び運営業務のモニタリングについて。

**答** 月ごと、四半期ごと、1年ごとに行っている。書類審査のほか、関係業者からの聞き取りや現地立会いなどを適宜実施し、適正な業務運営に務めている。

**問** 課題と今後の方向性は。

**答** 増加が予想される食物アレルギーへの対応が課題である。家庭、学校及び給食センターの情報共有と連携により、安全な学校給食の提供を進めていく。

## Q 政治への関心を高めるために

大野 洋子 議員



## A 議会や議員の役割、重要性を知ってもらえるような取組も必要

**問** 投票しやすい環境の整備についての考えは。

**答** 共通投票所は、二重投票やオンライン環境のトラブル防止などの技術的な問題がクリアされてから考えたい。また、インターネット投票は、若年層の投票率向上や投票に行きにくい選挙人の環境整

備などの観点から有効な方法であると考えますが、セキュリティの問題や本人確認等の課題も多いので、国の動向を注視していく。

**問** 早い時期から政治意識を高めるための取組は。

**答** 市内のある小学校では、議員をゲストティーチャーとして授業

を実施した。子どもたちが家庭で話し合う機会になると考えている。

**問** 地域に向けた関心の向上は。  
**答** 埼玉県選挙管理委員会の意識調査では、住んでいる地域に愛着を感じている人の方が、感じていない人よりも投票率が高い。地域の特色や課題などに関心を持ってもらえるような取組が必要である。  
**問** 市と議会とが共に取り組めることは。

**答** 議会での議論が市の事業や政策に反映されることを議会報や市広報で発信し、議会への参画意義を伝えていく必要がある。

◎**その他の質問** 地域の子育て支援機能の充実を



期日前投票所